

地域住民との連携による農空間保全

なごせ

名越地区農空間保全協議会（貝塚市）

- 名越地区は、水利組合を中心に農地や水路、農道等の保全管理を進めてきたが、近年、後継者の減少により、担い手の負担が増大し、継続的な活動に支障が生じていた。
- H27年度に名越地区農空間保全協議会が設立され、多面的機能支払交付金の取り組みにより、自治会等、地域住民と連携した地域資源の保全管理が図られている。

【 地区概要 】			
取組面積	9.84ha	[田6.00ha	畑3.84ha]
農業用施設	開水路 2.0km 1.6km	パイプライン	
	農道 0km	ため池	4箇所
主な構成員	水利組合、実行組合、自治会		
交付金	256千円（R02）		

活動開始前の状況や課題

- 農業従事者の高齢化や後継者の減少により、一部で遊休農地が発生したり、今後の持続的な農地・農業用施設管理や営農環境の悪化が懸念されていた。
- 農業用施設の不具合・老朽化が生じ、施設の軽微な補修・長寿命化が課題となっていた。



取組内容

- 水路清掃活動や草刈りに加え、ため池附帯施設の補修や防草シート張り等を交付金を活用して実施し、維持管理の軽減および施設の長寿命化を図っている。
- れんげやコスモス等景観作物の植栽による地域住民との交流活動に取り組んでいる。



取組の効果

- 交付金を活用してきめ細やかな施設の軽微な補修に取り組むことにより、計画的に農業用施設の保全管理を実施されている。
- れんげやコスモス等の景観作物の植栽等による農村環境保全活動にも取り組み、地域ぐるみの農空間保全が図られている。

